

サステナビリティの取組み－「環境と社会を組み込んだ経営」－

更なる「働きやすさ」と「環境への配慮」をコンセプトにした

新制服とともに、「NEXT100」に向けた取組みを加速させていきます。

2020年9月、ヤマトグループの制服が生まれ変わりました。更なる「働きやすさ」の実現に向けて、生地伸縮性・耐久性、安全性の向上、防寒対策など、さまざまな技術や工夫を取り入れました。また、「環境への配慮」として生地に植物由来PET素材※を採用しました。一般的な化石燃料由来PET素材と比べて、制服約220万点（初回製

造枚数計算）で約500tCO₂の二酸化炭素削減に効果があるとされています。（出典：東レ株式会社）新たな働き方や、持続可能な社会づくりにつながる制服で、社員の誇りの醸成や仕事へのモチベーション向上を図ります。

※さとうきび廃糖蜜（砂糖をつくる工程の副産物）を粗原料としている。
（単位）tCO₂：二酸化炭素に換算した重量（=tCO₂e）



環境への配慮

- ① 植物（さとうきびの廃糖蜜）由来PET素材を使用した商品として、「エコマーク」（タイプI環境ラベル）の認定を取得しています。
- ② 使用後の制服（生地は全て）は、マテリアルリサイクルを実施し、資源循環を促進します。



働きやすさ



① 伸縮性・耐久性の向上

新素材で従来よりも大幅な伸縮性を実現しながら十分な強度と耐久性を実現しました。



③ 防寒対策

地域の気候に応じた3タイプを用意。中綿の量を調整し、暖かさや働きやすさのバランスを最適化しています。



② 安全性の向上

防寒着・ブルゾン・安全靴・ベルトに反射材を使用。夜間の視認性を高めました。



社員満足を高めて、多様な人材から選ばれる会社に。

ヤマトグループは、社員が「働きやすさ」と「働きがい」を持ちイキイキと働くことができる労働環境の整備に取り組んでまいりました。（右図参照）

2020年3月以降、「巣ごもり消費」の影響によりEC関連の荷物量が増加し、現場は逼迫した状況が続く中、当社グループは、社員とその家族、お客様の安心安全を確保することを最優先に、お客様に対してはご自宅での非対面でのお届けなど感染予防対策を徹底しました。また、社員に対してはマスクや消毒液の支給や出勤前の検温などの健康管理に加え、心理的・身体的不安の中、事業継続を支えてくれたことに対する見舞金の支給など、「働きやすさ」「働きがい」の維持に努めました。引き続き社員満足を高めるとともに多様な人材から選ばれる会社となるため取り組んでいきます。

働き方意識調査結果

●「働きやすい」と回答した社員の割合（%）



●「働きがいがある」と回答した社員の割合（%）



●「働き続けたい」と回答した社員の割合（%）

